



朝日子だより

学生編 Vol.12



吉田高校の皆さんへ

私は今、夢の実現のために、山梨から遠く離れた場所で学んでいます。私の経験が、後輩の皆さんの参考になればと思います。

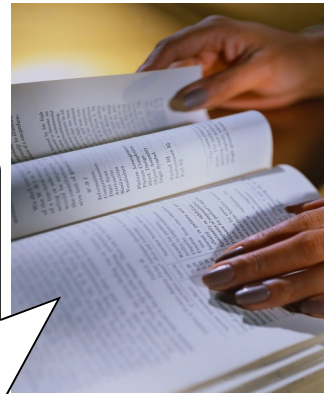
野木 紹吾(平成23年度 普通科卒業)

鳴門教育大学 学校教育学部 教員養成課程英語科教育コース

現在学んでいる内容

私

は、将来英語科の教員を目指しており、教育学部の教員養成課程で教育全般・英語科教育について学んでいます。中・高等学校において、どのような授業作りが大切であるのか、また現在、小学校においても外国語活動がはじまっていますが、小学生が外国語を好きになるためにはどのような授業作りが大切であるのか、といった問題を、グループを組んで主体的に考えています。また、教職論といった科目では、学校教員として必要な資質、いじめ問題への対応など、考える内容の講義が展開されています。



大学の様子

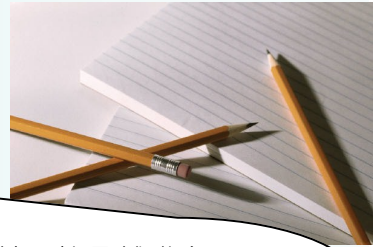


鳴

門教育大学は、徳島県の鳴門市にあります。街の中心部に立地しているわけではなく、高島という島に大学はあります。ですので、中心部から大学に通うには橋を渡るか、渡船を利用して島に渡るしかありません。生活する上では、非常に不便な場所に立地しているのです。高島には、大学のほか小学校、中学校、住宅、学生宿舎、アパート、公園などコンビニでさえも2軒ほどしかありません。ですから、学習に取り組むには良い環境であるのです。私の大学は、小規模な大学です。学生数は1学年120人ほどで、大学全体でも500人規模です。アットホームすぎるといっても良いかもしれません。大学＝大規模のイメージがあった私には衝撃的でした。しかし、大学生活を送る中で、先生方によるきめ細やかな指導などプラスに働く面の方が多いことが分かったのです。



大学入学前と入学後の印象の差



鳴

門教育大は現在、国公立の中で3年連続、教員就職率No.1です。入学前に私が大学に対して持っていたイメージは「きめ細やかな指導があり、就職時にメリットが大きいだろう」というものでした。実際に、入学直後から合宿があるなど、将来教員として必要な知識を実践的に学ぶことができます。一方で、大学生活はさまざまな個性を持っている人たちとの交流が出来ると思っていましたが、前述したように小規模の大学なので、交流の幅は限られているというのが現状です。大規模な大学に進学していたら・・・と思うことも多々あるのです。

学

習を続けるという上では、高校生と大学生との間に大きな違いはありません。大きな違いは、時間が豊富にあるということです。「時間が豊富にある」と聞くと一見、楽しそうな気もしますが、実際には難しいものなのです。目標を持っている人にとっては、高校時代よりも充実した生活が送れるはずですが。



高校生と大学生の違い

卒業後の進路

教

員養成大学ですので、卒業生の80%前後が学校教員や保育士として就職します。私の周りも小・中・高校の先生を目指している人、幼稚園教諭、保育士などが圧倒的多数を占めています。私自身もそんな環境のなかで、教員として就職することを目指しています。それ以外には、教育委員会などの教育関係に就職する方もいるようです。



吉高生に向けて



大

学選び・進路選択の決め手は、「就職率の良さ」でした。有名校・偏差値での選択もありますが、大学入学は将来の目標に近づく一歩だと考えています。ですので、大学の選び方は十人十色で良いのではないのでしょうか。それぞれの目標にむけて、全力で努力し続けてください。みなさんの周りには、吉田高校の先生方、仲間、そして2万人以上の同窓生が応援しています。私も吉高永久サポーターとして応援しつづけています。 **Do your best !**